



# はらぺこあむし組

9月号

令和5年9月1日

社会福祉法人 北杜福祉会 西多賀チェリーこども園

## 楽しもう！繋がろう！のはらまつり

今年の夏は、毎日各地で最高気温のことが報じられ、熱中症警戒アラートが連日発表されたり、お盆を過ぎてまだまだ厳しい残暑が続く暑い夏となっています。しかしそんな暑さの中でも、トマト、ナス、ピーマンなど畑の野菜たちは収穫が追いつかないほど美味しい実を実らせてくれて、子どもたちは今が旬の採れたて野菜をたくさん食べています。そして、晴天が続いた8月は、毎日のようにプールで水遊びを思いきり楽しむことができました。

園庭の“梨”は、昨年、全部鳥に食べられてしまい悔しい思いをしたので、今年こそは美味しい梨を子どもたちと食べたい！とリベンジに燃え、摘果をして袋をかけながら見守ってきました。そんな中、先日、風で落ちてきた梨を3歳児クラスののらがらどん組の子どもたちが拾ってくれて、「食べてみたい！」と事務室に持ってきてくれました。「どんな味がするか食べてみよう」と、試しにみんなで少しずつ食べてみると、「うん！あまい！」「おいしい！」と次々に子どもたちが大絶賛！その様子に、収穫の時期だと確信した私たち職員は、子どもたちに見守られながら収穫。なんと今年は22個もかわいい梨たちを収穫することができました。収穫した梨を袋から取り出すと、「この梨大きい！」「これ美味しそう！」「いいにおいがする！」と小ささまざまな梨に次々と興味を示す子どもたち。収穫した梨は、3時のおやつの時間に子どもたちや職員とみんなで分けながら美味しく味わうことができました。一年越しの“チェリーの梨”は、とってとても瑞々しくて美味しかったです！

30日(土)は、のはらまつりです。

夏まつりに続き、4年ぶりの通常開催となります。“人や自然とのふれあい”そして“一人ひとりとのつながり”を大事にした西多賀チェリーこども園らしい“のはらまつり”となりますよう、皆様のご協力をよろしく願いたします。  
2023. 9. 1 園長 佐藤 真里枝

### お知らせ

#### <世代間交流～お月見会～>

日時 9月6日(水) 9:30～12:30

場所 はらぺこあむし組(4歳児クラス)



おじいちゃん、おばあちゃんをお招きして、はらぺこあむし組の子どもたちとお月見団子を作り、みんなで、会食します。是非、参加してください。詳細は、後日お知らせいたします。

#### <富沢マルシェ参加>

9月24日(日)に行われる長町南商店街(三栄会)主催のお祭りにスイミー組の子どもたちが参加し、“荒馬”を披露する予定です。

場所 富沢公園(仙台市体育館東側)

出演時間予定 午前10:30ごろ

### おねがい



#### <三神峯公園へ散歩に行きます！>

自然いっぱいの野原であそぶ季節になりました。のはらまつりに向けて、三神峯公園までの散歩が多くなります。虫刺されなどの予防のためにも長袖、長ズボンの準備をお願いします。また、靴のサイズの確認をして、足に合った靴を履くようにしてください。サンダルは避けていただけますようお願いいたします。

## 行事予定

9月

日	曜日	行事
5	火	避難訓練
6	水	お月見会
8	金	総練習(以上児)
12	火	総練習(未満児)
15	金	総練習(以上児)
19	火	発育測定
20	水	誕生会
21	木	総練習(以上児)
22	金	のはらまつり実行委員会(保護者)
26	火	全体総練習
30	土	のはらまつり

10月

4	水	布団丸洗い
5	木	内科健診
6	金	こども園見学会
10	火	発育測定
13	金	のはらまつり反省会
17	火	誕生会
25	水	芋煮会
26	木	総合訓練



先日、園庭で遊んでいたスイミー組のIちゃんと、Kちゃん。二人で額をくつつけながら真剣な表情で一匹の虫を見ていました。「この虫、あんまり見たことがないよね。何ていう虫なんだろう?」と言いながらしばらく観察していたところ、「何ていう名前の虫か、一緒に調べに行こう!」と、KちゃんがIちゃんを誘って文庫にある図鑑を探しに行きました。その時、私も誘われたので一緒について行ったのですが、二人は虫の図鑑を次々に持ち寄って「これは似てるけれど、角みたいなものももっと長いから違うね」「こっちも形は似ているけれど色が違うね」など、二人で虫の特徴を話しながら探していました。そしてようやく「あ!これだ!!」と発見。二人が見つけた虫は“マルガタゴミムシ”という名前の虫でした。マルガタゴミムシは、石や落ち葉の下などにいるゴミムシの仲間の代表種で、緑がかかった銅色をしていて、ミズや植物の種などを食べると図鑑には書かれていました。二人はその図鑑を見ながら「種をご飯にしているんだね。ミズも食べるんだ~。おもしろいね!」と目を輝かせていました。

認定こども園教育・保育要領に「身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることをもちかえり関わるようになる」と、書かれています。IちゃんとKちゃんが、なぜ? どうして? という気持ちから図鑑で調べてみようとする姿は、まさに学習(科学)の入り口であり、子どもたちの好奇心や探求心が豊かな感性を育み、学びへの意欲にも繋がっていくのだらうと思います。

これからも、遊びの中で芽生える子どもたちの好奇心や探求心を大切にしながら、子どもたちの気持ちに寄り添って関わっていきたくです。さて、次はどんな発見をするのか、楽しみです!



## 母と子の 絵本 欄

「パパ、お月さまとって!」

出版社 偕成社

さく エリック・カール やく もりひさし



パパお月さまとって!と愛する娘からお願いされたパパ。長ーいはしごをたかーい山にかけてお月さまを取りに行きます。さて、お月さまを取ることはできるのでしょうか。ページに仕掛けがあったり、お月さまの大きさや夜空の広がりなどがとても美しく表現されている絵本です。

「おならうた」 出版社 絵本館

したにかわしゅんたろう えいりのかずよし 子どもたちが大好きな「おなら」の絵本です。

「いもくってぶ」「くりくってほ」と、期待を裏切ることなく次々におならが出てきます。最後のあたりは想像を超えてくる表現に子どもたちも大爆笑! 大人も思わず爆笑してしまう一冊です。



## わらべうたであそぼう

♪うさぎ うさぎ♪

うさぎ うさぎ なにをみてはねる  
じゅうごや おつきさま みて はねる

\*この後に続けて「ぴよん ぴよん ぴよん」と歌いながら、うさぎのように跳んであそびます。



版画

「のはらうた」 くどう なおこ作

